

令和5年度第3回前橋地域保健医療対策協議会 議事概要

○日 時：令和5年11月16日（木）18：30～19：30

○場 所：県庁28階 281-B会議室

○出席者：前橋地域保健医療対策協議会委員16名出席（内2名代理出席）
オブザーバー1名、前橋市4名、事務局11名

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 議題

①第9次群馬県保健医療計画について

- 資料1に基づき、事務局から説明。
- 意見、質疑等の概要は次のとおり。

(会長)

- ・質問はあるか。
- ・最後にも質問を受け付けるので、このまま進行する。

(2) 報告事項

①第9期介護保険事業計画について

- 資料2に基づき、事務局から説明。

②在宅医療について

- 資料3に基づき、事務局から説明。
- 意見、質疑等の概要は次のとおり。

(委員)

- ・資料3の在宅医療について、過剰な訪問診療・診察・看護をやっているチェーン店の診療所が散見される。そういう所は、「積極的役割を担う医療機関」に選定しないようお願いする。過剰な訪問診療・診察・看護を行っていないかの確認をぜひお願いしたい。

(会長)

- ・前橋市医師会で、何かフィルターをかけることは可能か。

(副会長)

- ・フィルターをかけていきたい。

(会長)

- ・県もサポートをお願いする。

(委員)

- ・この場で議論することではないかもしれないが、前橋市の少子化がすごい勢いで進んでいる。市の単位だけで考える問題ではないだろうが、前橋市には不妊治療の助成金の改善をお願いしたい。

(会長)

- ・少子化の政策については、国からの予算が増額されるため、保育料の減免や、保護者世帯が第2子、第3子を望みたいと思える方針に舵を大きく切りたい。また、不妊治療の助成金については、検討したい。

(委員)

- ・私は直接現場を見たことないが、過剰な訪問診療・診察・看護では一級身体障害者や自己負担がない人を狙っている印象を持っている。市や県には規制できる権限がないかもしれないが、支払基金と県や市が情報共有して、疑わしい診療所をピックアップする努力をしたほうが良いのではないか。

(会長)

- ・我々としては、政府の方針である薬局の窓口一元化は、マイナンバーカードでできるようになるのではないかと期待している。現状では支払基金や前橋市の国民健康保険課で、保険者として指導していかなければと考えている。

(委員)

- ・前橋の救急要請は今年度過去最多のペースできている。保健医療計画は救急体制や救急車の受入強化につながる重要な計画である。引き続き救急患者の受入れや、救急隊員の教育等を指導してほしい。

(委員)

- ・救急車の有料化を考えたほうが良いのではないか。タクシー代わりに使う患者もいる。国が対応しないと県も動けないと思うが、アメリカなどは救急車に乗れば高額な料金がかかる仕組みになっている。

(会長)

- ・消防局長に検討をお願いします。

(副会長)

- ・今後の保健医療計画作成は、スケジュールに沿って進めていければと考えているので、皆さまに引き続きよろしくお願ひしたい。

4 閉会